
マース・グリンドス・ガームズ・ブラック

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マース・グリンドス・ガームズ・ブラック

【Nコード】

N4011V

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

またもや実験的な作品。前よりは意味がわかるかな……。

それは憂鬱なホーマルガマンダ市の朝。

マルダ・ボーンズは、弟のクマルダと一緒に、聖マールサマンド・グリナマス公園に来ていた。

マース・システムをロドリゲス・インするためである。

これには、ガッツ・エンターテイメント社とモース・バリಂಗアル株式会社協力があつた。

市長、ソマンダル・ガバンドル氏もロドリゲス・インに立ち会つた。がががががが。

とどとどとどとど。

その途中、公園に、反マールブルグルス派のガツタル・ジョンとモール・ハバイル・ジュニアが視察に来た。

「これは、ちゃんとロドリゲスしてるの？」

「はい。マツハクリンドル形式でマールブもしています」

「そう。すごいね。でも、マドリゲスはしてないんでしょ？」

「実はしてるんです。マツサリンガーゴマン委員に注意されましてね。昨年からするようになりました。おかげで、マママンダス・クリンダが二倍になりましたよ」

「二倍に。そいつはすごい」

続いて、マース・システムにタッチメント・グリンダスした。ばばばばっ。

がっ。

がっ。

ぐぎゅるるるるる。

ソームアウトし、ガッツメントした。回転数は45・3。公園で野球をしていたたけしがよしおに言う。

「今日、うち冷やし中華なんだ」

「いいなあ。涼しそうだね」

せみが鳴いていた。

夏の日のジュリアンである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4011v/>

マース・グリンドス・ガームズ・ブラック

2011年10月9日18時27分発行